

国語 単元別出題・出典一覧

	2014	2013	2012	2011	2010
北海道	田中修「ふしぎの植物学」	朝日新聞「天声人語」 加藤秀俊「人間関係」	葉島義明「森の資源とその利用」 一阿部芳郎編「考古学の挑戦」所収 内山節「自由論」	中根千枝「適応の条件」 鈴木孝夫「ことばの社会学」	鷲谷いづみ「自然再生」 亀井勝一郎「私の読書論」
青森	西郷栄三郎「技士道15か条 ものつくりを極める術」	武田双雲「人生を変える『書』を観るしんみ、真似るしんみ」	茂木健一郎「ひらめき脳」	石黒浩「ロボットとは何か」 山折哲雄「出迎え3歩、見送り7歩」	長谷川耀「和の思想」
岩手	原田信男「食べるって何？ 食育の原点」	斎藤孝「アイデアを10倍生む考える力」	森博嗣「自由を作る 自由に生きる」	原 研哉「美意識は資源である」	竹田青嗣「中学生からの哲学『超入門』
宮城	内山節「山里の釣り」	稲垣栄洋「都会の雑草、発見と楽しみ方」		佐々木健一「美学への招待」	田中真知「美しいをさがす旅に出よう」
秋田	毛利衛「宇宙から学ぶ」	平田オリザ「わがめあえないことから」	玄田有史「希望のつくり方」		香山リカ「貧乏クジ世代」
山形	今井むつみ「ことばの発達の謎を解く」	山極寿一「ゴリラが笑うとき」	本川達雄「生物学的文明論」		
福島	清水博「近代文明からの転回」	内山節「内山節のローカリズム原論 新しい共同体をデザインする」	森博嗣「自分探しと楽しさについて」	小野良太「未来を変えるちよっとしたヒント」	外山滋比古「知的創造のヒント」
茨城	長田弘「なつかしい時間」	港千尋「芸術回帰論」	岸田一徳「科学コミュニケーション 理科の考え方をひらく」		石城謙吉「森林と人間」
栃木	山崎正和「手づくりの意味の変遷」	港千尋「書物の変 グーグルベルグの時代」	小浜逸郎「大人問題」	加藤秀俊「暮らしの思考」	小原二郎「木の文化をさぐる」
群馬	藤田正勝「哲学のヒント」	港千尋「芸術回帰論」		三谷龍二「僕の生活散歩」	鷲田清一「嘘みきれない思い」
埼玉	藤田正勝「哲学のヒント」	福岡伸一「動的平衡2」	岸田一徳「科学コミュニケーション 理科の考え方をひらく」	田中優子「未来のための江戸学」	稲色哲也 共著「ロボットのおへそ」
千葉・前	畑村洋太郎「組織を強くする」	野矢茂樹「新版 論理トレーニング」	鷲田清一「想像のレッスン」	塩野末松「木の教え」	羽生善治「決断力」
千葉・後	山極寿一「15歳の寺子屋」	佐藤洋一「里と森の危機」	志村史夫「文系？ 理系？ 人生を豊かにするヒント」	森田博嗣「わかりやすい街のデザイン」	
東京	長谷川眞理子「生態学から見た持続可能な社会」	佐藤京子「居住の文化誌」	宮原浩二「論力の時代」	鈴木三男「日本人と木の文化」	高田明典「難解な本を読む技術」
神奈川	浜本隆志「『恋』の思想史」	島田雅彦「いまを生きるための教室 死を思え 国語・外国語」		田中真知「美しいを探す旅に出よう」	丸山康司「自然エネルギーと市民風車」
新潟	藤田正勝「哲学のヒント」	黒崎政男「哲学者クロサキの哲学する骨髄」	鷲田清一「想像のレッスン」	内山節「清浄な精神」	長谷川耀「和の思想」
富山	斎藤光史「努力論一決定版」	田中修「植物はすごい」 俵万智「たんぼの日々」	寺島英郎「世界を知る力 日本の創生編」	花里孝幸「自然はそんなにやわじやない 誤解だらけの生態系」	森本哲郎「日本語 表と裏」
石川	福垣住世・波多野道余夫「人はいかに学ぶか」	工藤和男「くらしつなりの倫理学」	森博嗣「科学的とはどういう意味か」	田中真知「美しいを探す旅に出よう」	千住博「美術の核心」
福井	長田弘「なつかしい時間」	森博嗣「自分探しと楽しさについて」	松沢哲郎「想像する力・チンパンジーが教えてくれた人間の心」	三宮麻由子「目を閉じて心開いて一本道の幸せて何だろう」	原田信男「食べるって何？」
山梨	高路秀爾「日本の美、西歌の美」	森本哲郎「日本十六景」 門脇厚司「子どもの社会力」	正高信男「考えないヒト」	鷲谷いづみ「生物多様性入門」 光野桃「実り待つ季節」	外山滋比古「省略の文字」
長野	藤田正勝「哲学のヒント」	田中修「植物はすごい」	中村明「日本語の美・書くヒント」		大石久和「国土再考」
岐阜	外山滋比古「忘却の整理学」	内山節「戦争という仕事」	池内了「科学の薄と穴」	加賀乙彦「不幸な国の幸福論」	長谷川耀「和の思想」
静岡	池谷裕二「バケカルの万能薬」	田中修「植物はすごい」	斎藤孝「読書力」	茂木健一郎「笑う脳」	枝廣淳子・内藤静「入門！ システム思考」
愛知	平田オリザ「わがめあえないことからコミュニケーション能力とは何か」	今井むつみ「ことばと思考」 黒井千次「働くということ」	榎本博明「本当の自分のつくり方ー自己物語の心理学」 宇田喜代子「日曜日の随想2009」		多和田葉子「カタトのうわごと」 木下史貴「博物館へ行く」
愛知	中谷吉郎「科学以前のころ」	池内了「科学と人間の不協和音」	リービ英雄「私の日本語」	久石譲「感動をつくれますか？」	大河内直彦「あふれたコップに水を注ぐ」
三重	田中淳夫「日本人が知っておきたい森林の新常識」	三島次郎「街角のエコロジー」	中島裕行「タジリはなぜ優雅にジャンプするのか」	斎藤孝「読書力」	長谷川耀「和の思想」
滋賀	原研哉「白」	港千尋「芸術回帰論ーイメージは世界をつなぐ」	酒井邦嘉「科学者という仕事」	平野啓一郎「本の読み方スローリーディングの実践」	高田宏「山川草木紀行」
京都	原研哉「日本のデザイン」	只木良也「ヒトと森林」	大輪靖宏「俳句の基本とその応用」	高階秀爾「移ろいの美学 四季と日本人の美意識」	白幡洋三郎「日本人にとっての庭」
大阪・前	林定次「15歳の寺子屋」 久石譲「感動をつくれますか？」	本川達雄「生物学的文明論」	鷲谷いづみ「花はなぜ咲くのか？」 久保田洋編「日本古典文学紀行」	大野晋「日本語の年齢」	黒田玲子「科学技術と社会ーなぜ対話が必要なのか」 東條秀樹「雅楽」
大阪・前			延典秀人「宇宙誕生100万分の1秒後の謎」 外山滋比古「異本論」	伊藤悠「若い詩人の肖像」 日高敏隆「せむたちと温暖化」	
大阪・後		三浦哲郎「いとしまのたち」	幸田文「動物のぞき」 三島次郎「街角エコロジー」	森本哲郎「日本人は言葉とどうつきあってきたか」	小野正弘「オノマトペがあるから日本語は楽しい」 茂木健一郎「感動する脳」
兵庫	長田弘「なつかしい時間」	竹西寛子「『見る』に始まる」	山竹伸二「認められる！ の正体」	鷲田清一「わかりやすいはわかりにくい？」	加藤重広「その言い方が人を怒らせる」
奈良	小川洋子「とにかく散歩いたしましよ」 長田弘「なつかしい時間」	松井孝典「我関わる、ゆえに我あり」 堀江敏幸「時計まわりで往還すること 回送電車V」	中村明「語感トレーニングー日本語のセンスを磨く55題」	篠宮龍三「ブルーゾーン」 今井むつみ「ことばと思考」	長谷川耀「和の思想」 片岡義男「ピーナツ・バターで始める朝」
和歌山	樋口広芳「島・人・自然」	大江健三郎「新しい人」の方へ 中島義道「哲学の教科書」	森博嗣「科学的とはどういう意味か」	田中真知「美しいを探す旅に出よう」	外山滋比古「日本語の作法」
鳥取	鷲田清一「嘘みきれない思い」 内田樹「街場の現代思想」	外山滋比古「思考の整理学」	本田由紀「多元化する『能力』と日本社会」	内田樹「下流志向 学ばない子どもたち 働かない若者たち」	菊池聡「超常現象をなぜ信じるのか 思い込みを生む体験のあやうさ」
鳥取	磯崎淑子「社会人の生き方」	玄田有史「希望のつくり方」	汐見稔幸「学びの場はどこにあるか」	関根祐彦「新『やまと権子』論」	斎藤孝「原稿用紙10枚を書く力」
岡山	山折哲雄「世界の中の富士山信仰」	ゆはず和順「蘭語数珠の三十章」	円満字次郎「漢和辞典に誤り！」	長谷川宏「哲学塾 生活を哲学する」 田島伸夫「今に生きる『徒然草』」	鈴木孝夫「ことばと文化」
広島	菅原健介「羞恥心はどこへ消えた？」	柏木博「デザインの教科書」	中村明「日本語 語感の辞典」	池内了「パラドックスの悪魔」	林望「文章の品格」
山口	山崎正和「大停滯の時代を超えて」	古田亮「美術『心』論 漱石に学ぶ鑑賞入門」	原研也「日本のデザインー美意識がつくる未来」	阿部芳郎	長谷川耀「和の思想」
徳島	原研哉「日本のデザイン」	毛利衛「宇宙から学ぶ」	正高信男「考えない人」	森本哲郎「日本語 表と裏」	内山節「怯えの時代」
香川	神谷美恵子	呉善花	岸田一徳	黒川雅之	淡内譲
愛媛	上田正仁「東大物理学者が教える『考える力』の鍛え方」	三井秀樹「かたちの日本美 和のデザイン学」 沖方丁「もらい泣き」	土井隆義	鷲田清一	脇明子
高知	長谷川耀「和の思想」 長田弘「なつかしい時間」	河合集雄「こころの処方箋」 玄田有史「希望のつくり方」 (後期) 阿川佐和子「聞く力 心をひらく 35のヒト」	市川浩「＜身＞の構造ー身体論を超えてー」 梅原猛「学ぶよこび」	金田一春彦「日本語の特質」 西江雅之「旅人からの便り」	外山滋比古「ライフワークの思想」 なだいなだ「心の底をのぞいたら」
福岡	千宗室「工夫してみる」	小原二郎「木の文化を探る」	池内了「科学の薄と穴」	鶴ヶ谷真一「増補 書を讀んで羊を失う」 森本哲郎「読書の旅」	波平忠美子「生きる力をさがす旅」
佐賀	長田弘「なつかしい時間」	鷲田清一「『わかりやすいはわかりにくい』ー臨床哲学講座」	萩上チキ「社会的な身体」	森下伸也「遊説志向 自分の『頭』をどう疑うか」	外山滋比古「知的創造のヒント」
長崎	池内了「現代科学の歩きかた」	斎藤孝「息の人間学」	茂木健一郎「心と脳に効く名言」	今井むつみ「ことばと思考」	内田樹「街場の教育論」
熊本	浅見和彦「五重塔はなぜ美しいのか」	日高敏隆「人間についての寓話」	外山滋比古「異本論」	福岡伸一「動的平衡」	村上慎一「なぜ国語を学ぶのか」
大分	森博嗣「人間はいろいろな問題についてどう考えていけばいいのか」	矢野創「星のかけらを採りにいく」	香坂玲「生物多様性と私たち」	福岡伸一「ルリボシカミキリ」	斎藤孝「達和感のチカラ」
宮崎	矢野創「星のかけらを採りにいく」	波平忠美子「いのちの文化人類学」	岡本太郎「今日の芸術」	鷲谷いづみ「生物多様性 入門」	河合集雄「子どもといのち」
鹿児島	藤田正勝「哲学のヒント」	白鳥春彦「生きるための哲学」	本川達雄「生物学的文明論」		長谷川耀「和の思想」
沖縄		清ルミ「『優しい日本語』は特！」	玄田有史「わらわていひのた」	吉本隆明「13歳は2度あるか」	大野晋「日本語の文法を考える」